コンエアー
ガーメントスチーマー
デュアルテック スチーム

GS-88J

家庭用

CONAIR®

取扱説明書

目　次

安全上のご注意…… 1～3
各部のなまえ……4
組み立て手順……5
知っておいていただきたいこと…… 5～6
アタッチメントの取り扱いかた……7
ご使用の前に……8
使いかた…… 9～10
使い終わったら…… 10
使用できる布の種類と適性…… 11
お手入れのしかた…… 12
保管・収納のしかた …… 13
故障かな？と思ったら…… 13
保障とアフターサービスについて…… 14
仕様／保証書…… 裏表紙

日本国内専用
Use only in Japan

このたびはコンエアー ガーメントスチーマー デュアルテック スチームをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず、この取扱説明書をお読みください。
なお、お読みになられたあとも、保証書とともに、お使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

安全上のご注意

＊ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。

＊ ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の２つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの。
⚠注意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの。

本文中の絵表示の意味

	⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

※お読みになられた後は、お使いになる方がいつも見られるところに必ず保管してください。

日本国内専用　この商品は日本国内のみでご使用いただけます。

⚠ 警 告

改造はしないでください。修理技術者以外の人は、分解したり修理をしないでください。
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店またはコンエアージャパン合同会社「修理センター」にご相談ください。

定格 15A 以上のコンセントを単独で使用してください。
延長コードのご使用や、たこ足配線はお控えください。異常発熱・発火の原因となります。

電源コードは必ずゆとりを持たせて使用してください。
電源コードが引っ張られたり、屈曲が繰り返されるとショートします。

電源プラグはコンセントの根元までしっかり差し込んでください。
感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

電源プラグを清潔にしてください。電源プラグの、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は、よく拭いてください。
火災の原因となります。

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使用しないでください。
やけど・感電・けがをする恐れがあります。

引火性のもの（ガソリン、ベンジン、シンナー）の近くで使用しないでください。
爆発や火災の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しないでください。
感電・ショート・発火の原因となります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

⚠ 警 告

交流100V以外では使用しないでください。（日本国内専用）
火災・感電の原因となります。

電源コードがよじれたままでは使用しないでください。
断線してショートし、火花が出ることがあります。

本体に電源コードを巻きつけないでください。また、電源コードを束ねたまま使用しないでください。
電源コードがねじれて断線・ショート・火災・感電の原因となります。

使用中や使用後しばらくは、高温部（スチームヘッド・スチームホース）とスチームには触れないでください。
やけどの原因となります。

次のようなときは、使用しないでください。
- ●コンセントに差し込んだ電源プラグがグラグラ動く。
- ●電源コードや電源プラグが異常に熱い、または煙が出ている。
- ●電源コードに深い傷がある。
- ●電源コードや電源プラグが焦げている。

業務用として使用しないでください。また不特定多数の人が使う場所に置かないでください。
連続過負荷による故障の恐れがあります。

水につけないでください。また、浴室内やぬれた手で使用しないでください。
水の中に倒れた場合、すぐにプラグを抜いてください。
又、水に手を入れないでください。
ショート・感電の原因となります。

使用後は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
火災や事故の原因となります。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因となります。

⚠ 注 意

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。

給水・排水時は電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電することがあります。

運ぶときは、十分に冷めていることを確認してください。
けがや、やけどの原因となります。

タンクに水を満たす前に、常にタンクを本体から取り外すようにしてください。
感電の原因となります。

スチームや水が本体やスチームホースから漏れている場合は、ただちに使用を中止し販売店にご相談ください。
やけどの原因となります。

付属品を交換するときは、完全に冷めてから行ってください。
やけどの原因となります。

本体を傾けたり、前後に激しく動かさないでください。
やけどや故障の原因となります。

不安定な場所で使用しないでください。
毛足の長い敷物や不安定なところに置くと転倒して敷物の損傷やけが、やけどの恐れがあります。

使用中は本体から離れないでください。
火災の原因となります。

落としたり、ぶつけたりしないでください。
感電・発火の原因となります。

布などでスチームヘッドをくるまないでください。
部分過熱して発火することがあります。

電源プラグにピンや針金で触れたり、ごみを付着させないでください。
感電・ショート・発火の原因となります。

自分や他の人が着ている衣服に向かって蒸気を出さないでください。
やけどの原因になります。

安全上のご注意

⚠ 注 意

使用中スチームヘッドを人に向けないでください。
やけどの原因となります。

水タンクには上水道の水以外は入れない。ミネラルウォーター、軟水器の水、アルカリイオン整水器、リネンウォーターなどの香料を含んだ水なども入れないでください。
本体を傷めたり、導管を塞ぐ原因となります。

衣類の取扱絵表示で、の表示があるものには使用しないでください。

毛足の長い衣類は、かけ面を離して使用してください。

皮革製品には使用しないでください。

高級品や特殊加工品、熱に弱い生地に使用する場合は目立たないところでためしがけをしてからお使いください。

アイロン台を使用する場合は以下に気をつけてください。
・アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどの原因になります。
・熱に弱い生地や色の濃い布地には、必要に応じてあて布をしてください。

海外では使用しないでください。（日本国内専用）
やけどや発火の原因となります。

浴室や湿気の多い所に保管しないでください。
劣化により感電することがあります。

各部のなまえ

商品がすべてそろっているかを確認してください。

スチーム設定ダイヤル

通常モード		ジャケット・シャツなどのシワを伸ばす場合
部分仕上げモード		ズボンプレス等

スチームヘッド側面

プレス板

スチームヘッド

かけ面

持ち手

回転ハンガー

ズボンクリップ

ハンガーを本体正面に向けた状態でご使用ください。

伸縮ポール

スチームホース

高さ調節クリップ

取り外し可能な水タンク

ズボンクリップ

CONAIR

収納部

（スチームホースとアタッチメントのため）

キャスター

準備完了ランプつきの足元電源スイッチ

持ち手（ウラ）

スチームロックボタン

ロック OFF		上にスライド。スチームを止めます。
ロック ON		下にスライド。スチームを連続で噴射させます。

※ロック OFF に設定した直後、一定時間はスチームが出ます。やけどにご注意ください。

※スチームロックボタン OFF（）の状態でも、ボタンを押したり離したりすることで、手動でスチームを噴射させたり、止めたりすることができます。

アタッチメント

洋服ブラシ　ソフトクッションブラシ

組み立て手順

1 伸縮ポールの底についているネジをはずします。

2 本体に伸縮ポールを差し込み、ネジで固定します。

伸縮ポールのねじ穴が後ろにくるように伸縮ポールを差し込み、ネジで固定します。

3 伸縮ポールの高さを調節します。

高さ調節クリップを開いてポールを上下させて、長さを決めてクリップを閉じて固定します。

開く

ロックする

4 回転ハンガーをポールの一番上に差し込み、クリップで固定します。

開く

ロックする

知っておいていただきたいこと

使用前

●水タンクの中には、上水道の水以外入れないでください。

お湯やミネラルウォーター、軟水器、アルカリイオン整水器、リネンウォーターなどの香料を含んだ水などを水タンクに入れると、破損や故障の原因となります。

●水タンクを本体から必要以上に抜き差ししないでください。

水が必要以上に供給されて水漏れや故障の原因になります。

使用中

●衣類にスチームをあてる際は目立たない部分でためしてから行ってください。
裾や布地の裏などでためしてください。

●皮革製品、人工皮革製品には使用しないでください。

●綿素材はシワが伸びにくい場合があります。

●洗濯した衣類に汚れや洗剤が残っている場合、スチームをあてると、変色することがあります。
衣類をよくすすぎ、乾かしてからスチームをあててください。

●人に向けてスチームを出したり、衣類を着用したままでスチームをあてないでください。
スチームは高温のため、やけどします。

●スチームヘッドは水タンクよりも低い位置で使用しないでください。
湯玉が出たり、スチームが出なくなる恐れがあります。

●スチームヘッドを水タンクより高い位置に保ち、スチームホースをスチームホースと本体との接続箇所より下にたるませないでください。

●衣類に水ジミができた場合には、スチームホースを上に伸ばして、ホース内の水を水タンクに戻してください。

使用後

●水の入った水タンクを本体にセットしたあとや、電源を入れたあとは、本体を移動させないでください。
水タンクの落下・水漏れ・やけどの恐れがあり、危険です。

●水タンクに残った水は必ず捨ててください。
残った水をそのままにしておくと、故障の原因となります。

●本体を移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、スチームヘッドが完全に冷めてから、本体と水タンクを別々に運んでください。

アタッチメントの取り扱いかた

⚠ 注意

電源スイッチが「OFF」になっていることを必ず確認し、スチームヘッドが完全に冷めているときに、行ってください。

(アタッチメント) **洋服ブラシ**…ほこりを取りながらシワを伸ばしたいとき

(アタッチメント) **ソフトクッションブラシ** …デリケートな素材生地のシワを伸ばしたいとき

取り付け方

イラストのようにスチームヘッドの下部とアタッチメントをはめ込んで取り付け、次に上部を押すようにはめてください。

取り外し方

イラストのようにスチームヘッドの先端から取り外します。

ご使用の前に

準　備

1 水タンクに水を入れ、本体にセットします。

タンク上部のハンドルを用いて水タンクを取り外します。タンク上部の穴から、満たしたいところまで水タンクに水を満たします。この時あふれないようにご注意ください。水タンクを本体に取り付け、装置にしっかり取り付けられていることを確認します。

⚠ 注意

- **水タンクの中には、上水道の水以外入れないでください。**
  お湯やミネラルウォーター、軟水器、アルカリイオン整水器、リネンウォーターなどの香料を含んだ水などを水タンクに入れると、破損や故障の原因となります。
- **水タンクから水があふれないように注意してください。**
- **水の入っていない水タンクを運ぶときは、キャップを上にして運ぶことをおすすめします。**
  キャップを下にすると、少量の水が漏れる恐れがあります。

底部のキャップはクリーニングの時以外は外さないでください（図1）。タンク上部の小さな穴から水がもれないように注意してください。

（図1）

2 衣類をハンガーにセットします。

上着・ジャケットの場合

ズボンの場合

回転ハンガーは正面に向け、ズボンクリップに、プレスしたいズボンのウエスト部分をとめる。次にズボンの裾を下部のズボンクリップでとめ、ピンと張った状態にする。

3 目的に応じてアタッチメントをスチームヘッドに取り付けます。（P.7 参照）

⚠ 注意

電源が「OFF」になっていることを必ず確認し、スチームヘッドが完全に冷めているときに行ってください。

使いかた

スチームをあてる

1 **スチームロックボタンがOFF（🔓）になっていることを確認し、電源プラグをコンセントに差し込み、足元電源スイッチを「ON」にします。（準備中は、緑のランプが点滅）**

足元電源スイッチ上部のランプが点滅から点灯に変わると、準備完了です。
約90秒ほどで使用可能になります。

⚠ 注意

- 足元電源スイッチを「ON」にしたら、絶対にその場から離れないでください。
- 高温部（スチームヘッド・スチームホース）、スチームに触れないでください。
- スチームロックボタンがON（🔒）の状態で電源スイッチを「ON」にすると、スチームが急に噴出する場合がありますので、ご注意ください。

2 **スチーム設定ダイヤルでスチームモードを選択し、衣類にスチームをあてます。**

スチームロックボタンをON（🔒）にすると、連続でスチームが出ます。
スチームロックボタンをOFF（🔓）にすると、スチームの噴射を止めることができます。
また、スチームロックボタンOFF（🔓）の状態でボタンを押すと手動でスチームを噴射させたり止めたりすることができます。

〈スチームのモードについて〉 ダイヤル切替でスチームの出る場所が変わります

通常モード／ダイヤル左
スチームヘッドのかけ面を衣類にあてる

部分仕上げモード／ダイヤル右
スチームヘッドのプレス板に挟んであてる

お願い

- 使用中、スチームヘッドのかけ面やスチームホースは高温になりますので、触れないでください。

通常モード／ダイヤル左　衣類のシワ伸ばし等

かけ面を衣類にゆっくりあて、スチームの力でシワを伸ばします。

部分仕上げモード／ダイヤル右　ズボンプレス等

プレス板にズボン等を挟んでプレスします。

アイロン台を使用する

頑固なシワを取りたいときや、折り目をはっきり付けたいとき等、アイロン台でご使用いただくことも可能です。スチームを出しながら使用する場合は、スチーム設定ダイヤルを通常モード( )に設定し、スチームロックボタンをON( )にしてご使用ください。布の湿り気が気になる場合は、スチームを止めてもご使用いただけます。熱に弱い生地や、色の濃い布地には、必要に応じて「あて布」をご使用ください。

⚠ 注意

- アイロンがけの際、念のため衣類の目立たないところで「ためしがけ」をすることをおすすめします。またデリケートな生地のシワをのばす場合には、アタッチメントのソフトクッションブラシを取り付けてご使用ください。
- アイロン台を使用してアイロンがけする際はスチーム設定ダイヤルを必ず通常モード( )に設定してください。
- アイロン台にて本製品をご使用いただく際は、かけ面の表面温度が約85度～95度前後と高温になります。十分にご注意の上使用してください。
- 衣類の絵表示を必ず確認し、アイロンの表示が または のものには、アイロン台を使用せず、かけ面を衣類から離して使用してください。

使い終わったら

1 スチームロックボタンをOFF( )にします。足元電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜きます。

⚠ 注意

電源「OFF」後約30分は、スチームヘッドのかけ面とスチームホースは高温ですので、触れないでください。

2 水タンクに残った水を捨て、よく乾燥させます。

本体からタンクを取り外します。タンク上部のふたをあけて、水を捨ててください。
本体のタンク接続部に残った水を、やわらかい布などで拭き取ってください。

⚠ 注意

必ず、電源プラグをコンセントから抜き、本体が完全に冷めてから行ってください。

使用できる布の種類と適性

○…使用可、×…使用不可

素材	適性	素材	適性	素材	適性
皮革製品	×	アクリル	○	ポリエステル	○
ウール	○	シルク※2	○	麻※3	○
カシミヤ※1	○	レーヨン	○	綿	○

※1 かけ面を３～5cm程度離して使用してください。
※2 クッションブラシまたは当て布を使用してください。
※3 素材によってはシワが伸びにくい場合がございます。

上記の素材・適性表は目安です。ご使用の前には衣類の絵表示・素材を必ずご確認ください。
素材が不明の場合は、衣類メーカーにお問い合わせください。

⚠ 注意

- 衣類の絵表示でアイロンのかけかたの表示が または のものは、かけ面を衣類から離して使用してください。
- 混紡素材の衣類は、含まれるすべての素材をご確認の上、使用してください。
- 高級品や特殊加工品などには、目立たない所にためしがけをしてください。（ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミヤなど）
- 毛足の長い衣類やデリケートな素材は、かけ面を離して使用してください。
- 皮革製品類には使用できません。
- 飾り付衣類の装飾部分にスチームをあてる場合、素材（プラスチック等）によっては変色・変形・変質の恐れがあります。そのような素材の場合には、ご使用をお控えください。装飾部分の素材に関しては、衣類メーカーにお問い合わせください。

除菌・ニオイの軽減の効果

除菌：スチームを近距離から３秒以上あてた場合に効果が得られます。
ニオイの軽減：スチームを近距離から数秒間あてた場合に効果が得られます。

除菌性能試験内容
●試験依頼先：株式会社消費経済研究所（現：株式会社生活品質科学研究所）
●試験成績書発行番号：第15AN02000275-001
●試験成績書発行日：2015年 11月 19日
●試験結果：99.9%の除菌効果 試験は３種類の菌で実施
●試験方法：高温スチーム噴射での菌付着布の除菌効果確認
●除菌方法：近距離(1cm)から３秒間スチームをあてる

消臭性能(ニオイの軽減)試験内容
●試験依頼先：株式会社消費経済研究所（現：株式会社生活品質科学研究所）
●試験成績書発行番号：第15AN02000275-001
●試験成績書発行日：2015年 11月 19日
●試験方法：高温スチーム噴射での臭気液付着布の臭気成分濃度の減少率の確認
●試験結果：２秒間の処理でアンモニアに対して98.6%の臭気減少、６秒間の処理で酢酸に対して92.9%の臭気減少

お手入れのしかた

⚠ 注意

必ず、電源プラグをコンセントから抜き、本体やスチームホースが完全に冷めてから
お手入れをしてください。

通常のかけ面のお手入れ

●本体・スチームヘッドをやわらかい布で拭いてください。
●スチームヘッドのかけ面の落ちにくい汚れは、中性洗剤か水を含ませた布で
拭き取ってください。さらに乾いた布でていねいに拭き取ってください。

スチームの出が悪くなったときのお手入れ

●針・ピンなどで汚れを取り除き、ぬれた布で拭き取ってください。
●掃除の直後は、布地を汚すことがありますので、必ず数分間スチームを出してから
ご使用ください。

⚠ 注意

● 本体に直接水をかけて洗わないでください。
故障や感電事故の原因になります。
● タワシ・みがき粉・シンナー・ベンジンなどでみがかないでください。

上記を試しても症状が改善されない場合

下記の手順をお試しください。

1 水タンク内に残っている水を捨てます。

2 タンクに精製水 1L を入れます。

3 スチームのモードを通常モード（ ）に設定します。

4 タンク内の水がなくなるまで（警告音が鳴るまで）
スチームを連続噴射させます。

⚠ 注意

●上記を試しても症状が改善されない場合は、再度上記の手順をお試しください。
●再度お試しいただいても改善されない場合、故障の可能性がありますので、修理センター（P14）
へお問い合わせください。

保管・収納のしかた

1 伸縮ポールをいちばん低い高さに調節します。

2 スチームホースを収納部にしまいこみ、収納部上部にスチームヘッドをひっかけて収納します。

⚠ 注意

本体に電源コードを巻きつけ、収納しないでください。
使用後は水タンクに残った水は必ず捨ててください。
残った水をそのままにしておくと、故障の原因となります。

故障かな?と思ったら

「故障かな?」と思ったときは、次の点をお調べください。

電源が入らない	電源プラグがコンセントに差し込まれているか確認してください。 足元電源スイッチがONになっているか確認してください。
スチームが出ない	電源が入っているか確認してください。 水タンクに水が入っているか確認してください。 スチームロックボタンがON（🔒）になっているか確認してください。
スチームの量が少ない	スチーム設定ダイヤルが適切な位置に設定されているか確認してください。（P4参照） スチーム噴射口が詰まっている可能性がありますので、P12のお手入れ方法を確認してください。
スチームヘッドから水・湯玉が出る	長期間使用していない場合など、ホース内にたまった水分が水や湯玉となって出る場合がありますが、通常数十秒程度で止まります。 スチーム噴射口が詰まっている可能性がありますので、P12のお手入れ方法を確認してください。
警告音が止まらない	水タンクに十分水が入っているか確認してください。 水タンクが本体にセットされているか確認してください。

上記を確認しても、症状が改善されない場合、故障の可能性がありますので修理センター（P14）へお問い合わせください。

保証とアフターサービス （必ずお読みください）

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談はまず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

●修理は、「修理ご相談窓口」へ

保証書（裏表紙をご覧ください）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受取りください。よくお読みのあと保存してください。

保証期間：お買い上げ日から

本体1年間 ※付属品の保証はございません。

補修用性能部品の保有期間

当社では、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、最低5年保有しています。

修理を依頼されるとき

●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理受付させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。なお、直接修理ご相談窓口に送付した場合の送料はお客様負担となります。修理内容の確認のため、事前に修理相談窓口までご連絡くださることをお勧めいたします。

●保証期間を過ぎているときは

ご要望により有償修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容	
品名	コンエアー ガーメントスチーマー デュアルテック スチーム
品番	GS-88J
お買い上げ日	年　月　日
故障の原因	できるだけ具体的に

コンエアージャパン合同会社　お客様相談窓口のご案内

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は、まずお買い求めの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は、品名・品番をご確認のうえ下記窓口へ

修理ご相談窓口

コンエアージャパン　修理センター

フリーダイヤル **0120-137-240**

受付時間：9:30～18:00（土日・祝日除く）

●夏季休業日・年末年始休業日は、弊社インターネットサイト上にご案内いたします

●修理品のお送り先は修理センターでの受付時にご案内申し上げます

ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱い

コンエアージャパン合同会社およびその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。
お問い合わせは、ご相談された窓口にご連絡ください。

仕　様

品名:コンエアー ガーメントスチーマー デュアルテックスチーム　　品番:GS-88J

電源	AC 100V 50/60Hz	総質量	約6kg
消費電力	1450W	連続運転時間	約60分
水タンク容量	約1.8ℓ	付属品	洋服ブラシ、ソフトクッションブラシ
電源コードの長さ	約1.8m	大きさ	約幅460mm×奥行270mm 使用時:高さ1700mm／(最大)収納時:高さ670mm

※製品のデザインは改善のため予告なく変更することがあります。
※製品の色は印刷物に比較して実際の色と少し異なる場合があります。
※イラストは簡略化して表現してあるため商品と多少異なります。

愛情点検

長年ご使用の製品の点検を!

こんな症状はありませんか?

- ●ご使用中、コード･電源プラグが異常に熱くなる。
- ●コードを折り曲げると通電したりしなかったりする。
- ●通電中に異常な音がする。
- ●その他の異常･故障がある。

使用中止

電源プラグを抜き、故障や事故防止のため、販売店、または当社まで点検･修理をご相談ください。

IB-GS88J-01-1510